

大阪府に寄せられたご意見（2023年12月分）の概要

府民文化部 府政情報室 広報広聴課 広聴グループ

総件数・内訳

2023年12月分741件 受付期間: 2023年12月1日から2023年12月31日まで

<参考>前年同月: 800件

2023年度(4月から12月まで) 計: 8,931件(署名含む)、8,517件(署名を除く)

2022年度(4月から12月まで) 計: 9,981件(署名含む)、9,060件(署名を除く)

【ご意見の内訳】

○府政に関する意見	509件
○所管外	149件
○その他(趣旨不明等)	83件
計	741件

【公表・対応分】

○連絡をしたもの	5件
----------	----

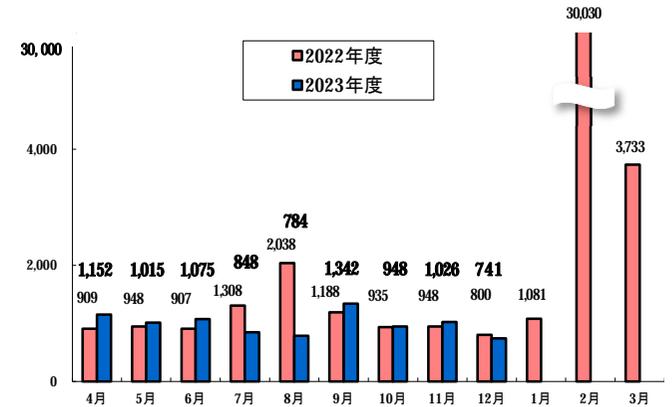
【府政に関する意見(主なもの)】

(1) 大阪・関西万博に関するもの	136件
(2) 高校授業料補助に関するもの	21件
(3) 都市魅力・観光に関するもの	16件
(4) 道路に関するもの	13件
(5) 教育施策に関するもの	11件

【受付部署別件数】

・府民お問合せセンター	701件
・府政情報室	38件
・各所属 (所属内訳)	2件
総務部、府民文化部	1件

【件数の推移】



項目別の意見(抜粋)

【大阪・関西万博に関するもの】

- ・2025大阪・関西万博について、府市の負担総額が計1,112億円に増額されたことが、連日批判されている。その莫大な費用を負担するのは、国民、府民である。今さら中止は難しいと思うので、せめて規模を縮小して開催するべきだ。
- ・2025大阪・関西万博のチケットの購入や、そのための「万博ID」の登録が面倒で難しい。万博に行こうと思っているが、手続きが煩雑なためチケットの購入を躊躇してしまう。もっと簡単に手続きできるよう改善してほしい。また、チケットを購入しようと旅行代理店に問い合わせたが、販売していないと言われた。インターネットが苦手な高齢者にとっては、オンラインのみでの取扱いでは購入しづらい。府内各市町村に、万博のチケット販売窓口を設けてほしい。
- ・2025大阪・関西万博では、周辺の駐車場にマイカーを止め、直行バスで会場に向かう「パークアンドライド方式」を取り入れるとのことだ。しかし、舞洲の駐車場と万博会場を結ぶバスの便数の計画が甘く、実現が難しいのではないかと懸念されている。1970年の大阪万博や名古屋の愛・地球博でも、バス運行のシミュレーションが甘かったために交通渋滞を招いたようなので、今回も同じ失敗をしないよう、いくつもの状況を想定し対策を取るべきだ。

【高校授業料補助に関するもの】

- ・府の私立高校授業料無償化について、府外の24校が指定を希望したことが報道された。しかし、府民から税を徴収しているのに、他府県に通う生徒が対象外になるのは不公平ではないか。学校の希望により制度の適用の有無を決めるのではなく、府民に対しては等しく制度が適用されるよう、他府県に通う高校生の家庭には、世帯に対し支給する等、改めてほしい。

【道路に関するもの】

- ・府内のいくつかの道路では、路面の表示が消えかけているところがある。そのため夜間や雨天の日には目視できず、非常に危険だ。早急に府内の道路を整備し、府民の安全を守るべきだ。

【教育施策に関するもの】

- ・教育現場でのいじめについて、デジタル庁の取り組みと連携し、教育のデジタル化によっていじめのない教育現場を形成してほしい。防犯カメラをつけるのもよいのではないかと。

ご意見の取扱い

大阪府に寄せられたご意見は、今後の府政運営の参考にさせていただきます。このうち、制度や府の考え方の説明が必要と判断したものなどは、適宜ご本人に連絡を取るなどして回答しました。回答内容については、「[府政へのご意見](#) ホームページ」に掲載しています。また、「府議会議員を介して寄せられた意見」については、別紙をご覧ください。なお、国、市町村などの府以外の官公庁に関するご意見のうち、これらへの伝達を希望されたものについては、各機関に内容をお伝えしました。

府議会議員を介して寄せられた意見

※「府民の声」は個人情報等を除き掲載しています。

(別紙)

件名	府民の声	府の考え方	所管課
<p>公共工事の入札制度等について</p>	<p>府では多岐に渡る要望に対処するべく前向きに入札制度の改善に取り組まれてきたところであるが、コロナ禍が落ち着きを見せるに伴い個人消費は穏やかに持ち直し、世間では景気回復の兆しが期待されている中、一方で、我々建設業界ではまだまだ問題が山積みである。そのひとつに建設業が直面している「2024年問題」があり、猶予されていた時間外労働上限規制が適用された後、従業員に長時間労働させることができなくなり、労働力が不足することから業務遂行が困難になりえる。また日本は、少子高齢化が進み労働人口が減少することから、社会全体で労働力が不足する問題を抱えており、特に建設業は他産業よりも人手不足が深刻な状況にある。その理由として、労働環境が過酷であること、3K（汚い・キツイ・危険）や新3K（帰れない・厳しい・給料が安い）と言われるようにイメージが悪いことなどが挙げられ、故に事業に支障が出ないように労働環境を整備し業務の効率化を図るといった対応が求められている。もうひとつに大阪・関西万博があり、建設業界は国内で建設の受注が増加傾向となるなか、資材が高騰していることや調達そのものが難しくなっており、高層ビルの建設などに必要な「鉄骨」は、調達に半年以上かかるケースもあるほか、建物の骨格が完成したあとに行われる空調や電気設備といった工事を担う技術者が不足する懸念もある。以上のことから原材料の過剰な高騰や人件費の高騰による建設費の圧迫などが余儀なくされることとなる。そのためにも資材の価格や人件費等の経費を見積書の再徴収などを行い最新の実勢価格等を踏まえた積算による予定価格の設定された入札や発注スケジュールを考慮して頂くよう、お願いしたい。また災害時には、地元建設業者で迅速な災害対応をしており、今後も、いたるところで予想もしない甚大な災害が発生する可能性がある。そうした災害時に地元建設業者の即応性が問われることとなる。今後も地元を根ざす建設業者として、社会資本整備はもとより緊急支援活動にも力を発揮し地域社会に貢献できるよう、現行の入札制度の更なる改善を期待するものであり、9項目について要望を行う。(詳しい要望内容(要望書)はこちらを参照してください。)</p> <p>URL: https://www.pref.osaka.lg.jp/koho/05-dantaial/231129_yobosatsuki.html</p> <p>(府議会議員から2023年10月30日に取次があり、2023年11月29日に府民と対応したもの。)</p>	<p>9項目の要望に対し、都市整備部事業調整室の各担当者より取組みの現状及び今後の対応について回答しました。</p> <p>(詳しい回答内容はこちらを参照してください。)</p> <p>URL: https://www.pref.osaka.lg.jp/koho/05-dantaial/231129_kaitosatsuki.html</p> <p>(2023年11月29日連絡)</p>	<p>総務部 契約局総務委託物品課</p>